

# 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 7月分

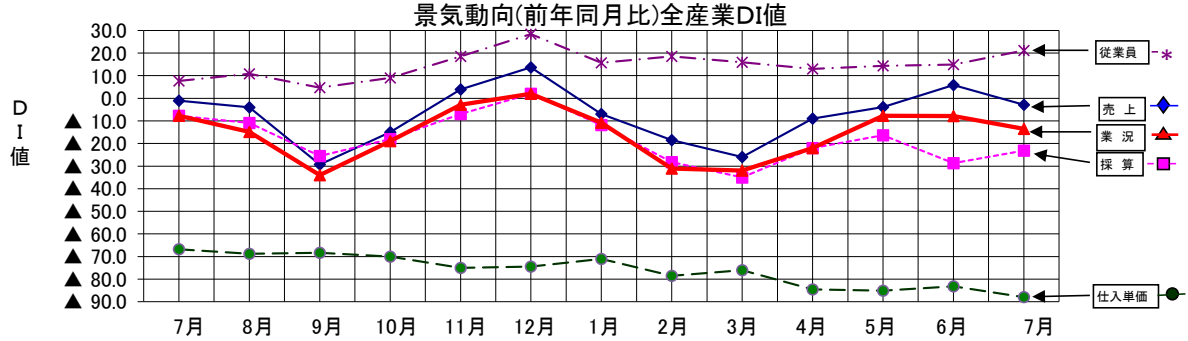
## 【7月の概要】

### 原材料費高騰による影響深刻 新型コロナ第7波や消費者の買い控えも懸念材料

業況判断を示すDI値は、「採算」で5.6ポイント改善したものの、他のDIは悪化傾向。先行き見通しについては、「売上」と「業況」は2ケタ台の悪化で、再びマイナス水準に転じた。「従業員」DIは、業況判断、先行きともに+20ポイント台で人手不足感が強い。

寄せられたコメントでは、価格高騰や資材不足がさらに深刻になってきており、価格転嫁をせざるを得ない苦しい状態が窺える。また、値上げによる消費者の買い控えを懸念する声もあった。

価格上昇や原材料不足の影響や、新型コロナ第7波にも警戒しながら売上増加を図っていかねばならない難しい経営環境が続くものと思われる。



### 【全産業平均DI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合)

|      | 2021年7月 | 8月     | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 2022年7月 |
|------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 売上   | ▲ 1.0   | ▲ 4.0  | ▲ 29.3 | ▲ 15.0 | 3.9    | 13.7   | ▲ 6.9  | ▲ 18.5 | ▲ 26.0 | ▲ 9.0  | ▲ 3.9  | 5.9    | ▲ 2.9   |
| 採算   | ▲ 7.7   | ▲ 10.9 | ▲ 25.5 | ▲ 18.0 | ▲ 6.9  | 2.0    | ▲ 11.8 | ▲ 28.2 | ▲ 35.0 | ▲ 22.0 | ▲ 16.4 | ▲ 28.7 | ▲ 23.1  |
| 業況   | ▲ 7.7   | ▲ 14.9 | ▲ 34.0 | ▲ 19.0 | ▲ 2.9  | 2.0    | ▲ 10.8 | ▲ 31.1 | ▲ 32.0 | ▲ 22.0 | ▲ 7.7  | ▲ 7.9  | ▲ 13.5  |
| 仕入単価 | ▲ 66.8  | ▲ 68.8 | ▲ 68.4 | ▲ 70.0 | ▲ 75.0 | ▲ 74.5 | ▲ 71.1 | ▲ 78.6 | ▲ 76.0 | ▲ 84.5 | ▲ 85.1 | ▲ 83.2 | ▲ 88.0  |
| 従業員  | 7.7     | 10.9   | 4.7    | 9.0    | 18.6   | 28.4   | 15.7   | 18.5   | 16.0   | 13.0   | 14.4   | 14.9   | 21.2    |

- ・プラス幅が増加したDI値：従業員6.3ポイント（人手不足局面へ）
- ・マイナス幅が減少したDI値：採算5.6ポイント
- ・プラスからマイナスに転じたDI値：売上▲8.8ポイント
- ・マイナス幅が増加したDI値：業況▲5.6ポイント、仕入単価▲4.8ポイント

### 向こう3か月間の先行き見通し

|    | 売上(受注・出荷) | 採算     | 業況     | 仕入単価   | 従業員  |
|----|-----------|--------|--------|--------|------|
| 5月 | 2.9       | ▲ 16.4 | ▲ 12.5 | ▲ 67.3 | 16.4 |
| 6月 | 8.9       | ▲ 12.9 | 5.9    | ▲ 64.4 | 23.8 |
| 7月 | ▲ 1.9     | ▲ 20.2 | ▲ 12.5 | ▲ 63.5 | 23.1 |

- ・見通しが改善したDI値：仕入単価0.9ポイント、従業員0.7ポイント（需給均衡局面へ）
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲10.8ポイント、採算▲7.3ポイント、業況▲18.4ポイント

### 【業界から寄せられた主なコメント】

|       |       |  |
|-------|-------|--|
| 建設業   | 設備    | 入荷遅れが深刻。中古部品を再生して当面の対応を考えているが、長期間になれば会社運営に大きな支障をきたす。 |
|       | 管工事業  | 部品の生産・流通が滞り、機器の欠品・品薄や価格上昇等、大きな影響が出ている。               |
| 製造業   | 乳製品   | 原材料高騰分を販売価格に転嫁できない状況                                 |
|       | 製菓    | 原材料高騰分の「価格転嫁」は、相手のあることなので思うようにはいかない。来年までには値上げしたい。    |
| 卸売業   | 贈答記念品 | コロナ禍後の消費者ニーズが変化していくのではないかと心配している。                    |
|       | 青果    | 観測史上最短の梅雨で青果物の生育が心配される。また、食料品の値上げによる買い控えが懸念される。      |
| 小売業   | 印刷等   | 第7波が来ても自粛はこれ以上無理。円安により日本国内へ生産拠点が戻ってくる方に期待したい。        |
| サービス業 | レストラン | 7月より一部商品を値上げしたが顧客の動向が心配。また、人手を確保できない状況が続いている。        |
|       | タクシー  | 猛暑の時期が早まったことで乗客の利用頻度が上がってきたが、燃料等の価格高騰に苦慮している。        |
|       | 不動産情報 | 土地の売買や賃貸の動きも好調。しかし、それに比例して店舗の廃業、閉鎖の動きも出ている。          |